

山口春夫専務理事
写真は代読する



祝 辞

大阪府中小企業団体中央会

会 長 岡 本 榎 雄

大阪建設機械リース協同組合が、このたびめでたく創立50周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

また、のちほど、知事表彰をはじめ各表彰ならびに感謝状を受章されます皆様方、誠におめでとうございます。このたびのご受章は永年にわたり、業界ならびに企業の振興発展に多大のご貢献をされた賜物であり、そのご功績に対し深く敬意を表しますとともに、本日のご栄誉を心からお祝い申し上げます。

さて、顧みますと貴組合は、昭和32年に業界の振興発展と組合員の健全な発展を図るために設立されました。

以来、この半世紀を振り返りますと、日本経済は戦後復興期から神武・いざなぎ景気の高度成長期を経て、2度のオイルショックや円高不況、バブル景気の崩壊など、めまぐるしく激変してまいりました。

その間、貴組合におかれましては、今日に至るまで一貫して相互扶助の精神に則り、教育情報提供事業など、時宜にあった諸事業を積極的に展開され、幾多の試練を克服し業界の振興と組合員の健全なる発展に貢献してこられました。

また、平成18年1月には大阪府と「災害時における応急救助用資機材等の供給協力に関する」協定を締結し、地震等により大規模な災害が発生したときに、仮設トイレをはじめ、暖房器具、自家発電機等の救助資機材の迅速な供給の協力体制を整えられ、大阪府の防災対策の一翼を担われておられます。

これもひとえに北野理事長様をはじめ歴代役職員の方々の献身的なご努力と組合員の不断の事業活動の賜物であり、心より敬意を表する次第であります。

ご高承の通り、わが国経済は、戦後最長の景気回復期にある中、地域経済の担い手である中小企業は、業種間、業態間、企業間等の格差が拡大し、景況感にはばらつきが見られるなど依然として厳しい状況にあります。

このような状況の中で、中小企業が競争力・経営基盤の強化を図っていくためには、柔軟な発想と旺盛な創造力の発揮、素早い技術革新への対応など、新事業展開に積極的に取り組む必要があります。

大阪建設機械リース協同組合の皆様方におかれましては、この記念すべき創立50周年を契機として、これまでの実績と経験を活かされ、組合員相互の連携を一層深められまして、さらなる飛躍発展を遂げられますよう心から祈念申し上げる次第であります。

本会といたしましても、府下中小企業の振興発展のため、リーダーグループ・サポート事業を初めとする様々な組合振興対策事業を積極的に展開するなど、皆様方のご期待に応えるよう、全力を尽くして参る所存でございますので、皆様方の旧に倍するご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びにあたりまして、貴組合の益々の発展と組合員の皆様方のご健勝とご活躍をお祈りいたしまして、お祝いの言葉といたします。